

平成24年度富里市地域公共交通会議（第1回）会議録

日 時	平成24年6月5日（火） 午前10時～	場 所	富里市役所本庁舎 3階第3会議室
出席委員	石橋規委員，飯高貞夫委員，池田和弘委員，佐々木努委員，米本健二委員（山崎一也氏代理出席），鶴沢尚夫委員，篠崎秀樹委員，中野善敦委員，高田敏秋委員，伊藤隆史委員，長谷川英利委員，		
欠席委員	丹さく子委員，田中希生委員		
事務局	林田総務部長， 総務部企画課：中川課長，相川副主幹，篠原主査補，池田主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 委員紹介</p> <p>4. 議題 新たな地域公共交通体系の構築に向けて【事務局説明】</p> <p>「質疑・意見」</p> <p>【委員】</p> <p>前回の会議でもある程度の指針は出ているが，幾つか検討して頂きたいことがある。</p> <p>まず一つは，日吉台から市役所・福祉センターなどへのアクセスが分かりにくいのではないかと。今後，日吉台に総合病院ができた場合には，市民から逆のアクセスの要望が出てくるだろう。</p> <p>もう一つは，酒々井の大型商業施設へのアクセスも念頭に置くべきである。また，デマンドは基本的に南部地域を想定しているが，現在社会福祉協議会で実施している移送サービスでも買物に利用したい要望もあるので，このデマンドに振り替えられないだろうか。</p> <p>次回にはそのような事についての検討もお願いしたい。</p> <p>【委員】</p> <p>運賃が300円～400円が妥当と考える。その運賃設定での検証になるであろうが，例えば割引のある回数券や定期券など，利便を図る事で利用率を上げるのはどうだろうか。もしそのような事が可能であれば取り入れて頂きたい。</p> <p>【事務局】</p> <p>現在も回数券は導入している為，引き続き継続する意向である。</p>		

【委員】

定期券はどうか。通院している方にとっては便利である。

【事務局】

現時点での定期券の導入は考えていない。

毎日利用される方ならば定期券の利用を検討する可能性はあるが、現状では小学生などの一部を除き、毎日利用される方は少ないようである。

その事に関しては今後検討していきたい。

【委員】

利便性を向上する事で、利用回数が増えるという効果が狙えるのではないかと考える。

なにより利用回数を増やす事が重要である。

【委員】

先日、根木名小学校の通学路における安全点検を実施した。

さとバスの停留所で路側帯があるのみで歩行空間が極めて少なく、乗客は必然的に道路上でバスを待つ状態となる箇所があった。

その状況ではバスが停車をしていればさらに事故となる可能性が大きい。

今後の検証の際にはバス停の整備を検討した上で、このような危険な乗降箇所は是非とも避けて頂きたい。

また、現状のルートや乗降ポイントについても点検して頂きたい。

【事務局】

実証運行で考えている車両形態はセダンタイプであるため、現在運行している中型のバスよりは多少緩和されるものとする。

現状の停留所については現況を確認し安全対策に努める。

【委員】

実証運行はセダンを使用し、タクシーは通常5人乗りであるが、乗務員を除いた4名の乗車となる。

P11 に利用特性の記載があるが、八街駅、富里バスターミナル、ベイシアの利用頻度はこの資料では分からない。実証実験をしなければわかりかねる事柄も多々あると思うが、その利用頻度の予測に関してはどのような考えだろうか。

そして、P19 の最後の図にあったデマンドの3ルートの合計は約 86Km となる。もしもこのルートが1時間に一本の定時定路線となれば車両台数もそれなりに必要となるだろう。その事に関してどのような考えだろうか。

【事務局】

デマンド予定地域の利用予測であるが、現在の利用状況やアンケート結果から推測すると、1時間に一本の運行を想定した場合には、そのダイヤの全てに需要があるとは考えにくい。

台数の詳細についてはダイヤを設定する段階で改めて検討したいと思う。

【委員】

運行時間は何時から何時までを考えているのか。

【事務局】

午前8時から午後3時台程度までと考えている。

【委員】

P19について、乗り入れを検討しているのは富里バスターミナルなのか。また、それに伴い新たなバス停の設置はあるのか。

【事務局】

現時点で、さとバスの新たなバス停の設置を検討している箇所は、七栄スクエアと富里バスターミナルのみである。

【委員】

バス停の設置箇所の記載が資料に無いため確認した。路線バスの営業路線と同じ箇所にバス停を設置するという考えはいかがなものかも一度検討いただきたい。

七栄スクエアや富里バスターミナルには路線バスのバス停がすでに存在する。

各ルートにおいて七栄スクエアと富里バスターミナルの両方に停車する考えは運賃などの問題ではない。コミュニティバスの原点に基づいたバス停の設置を検討して頂きたい。

富里バスターミナルについてはベイシアがあり、買物等々で各ルートで路線バスのないところから向かうのはやむを得ないと思うが、七栄スクエアについてはどのような理由に基づいての計画案なのか。

【事務局】

現在どの循環路線においても成田方面への乗り入れが無い。その手段として路線バスへの乗り継ぎによる利用方法を考えている。その拠点となりうるバス停を検討した際に、市内での運行本数が一番多く更に利便性も良いという理由から七栄スクエアに設置を検討している。

【委員】

富里バスターミナルにおいては、路線バスの無い各方面の方々が買物を目的に利用するので理解できる。しかし、七栄スクエアについては現状で路線バスを利用している人がいる。運賃の問題は別であって、競合する部分での影響についてどう考えるか。

【事務局】

さとバス利用者の中にも成田方面への乗り入れ要望がある。最善の方法として路線バスへの乗り継ぎがし易い箇所として七栄スクエアを考えさせていただいた。

【委員】

七栄スクエアに関してはバス停の設置をしないか、条件を付けるかである。このバス停は非常に重要な箇所である。成田方面へ乗り継ぐ客は、現状でもきちんと乗り継いでいる。ここで乗り継がなくても、富里バスターミナルにて乗り継ぎが可能である。

【事務局】

確かに富里バスターミナルでの乗り継ぎは可能であるが、七栄スクエアでは2路線への乗り継ぎが可能であり、本数を考慮しても成田方面への乗り入れについては七栄スクエアを利用したほうが効果的と考えている。

【委員】

コミュニティバスの原点に基づいて検討して頂きたい。

この箇所におけるバス停の設置は反対である。既存路線に影響を及ぼさない運行をする事こそがコミュニティバスの基本であると考えます。

【事務局】

路線バスの利用客をさとバスへ取り込もうとは考えていない。あくまでも相乗効果を期待する考えである。

【委員】

競合を避ける事こそが基本である。これをぜひお願いしたい。

【委員】

老人クラブの立場からお願いがある。

老人はいつ何時体調を崩すとも限らない。その為いつでも利用可能であり、さらに病院や駅へ直接アクセスできるバスが望ましい。

【会長】

七栄スクエアについては次回までに検討して頂きたい。その他については、説明のとおり進める方向でよろしいか。

【委員】 一同承認

5. その他

今回は、7月下旬を予定とする。

6. 閉会

以上